パワー（電力・動力）

2011 秋

株式会社ホンマ電機

情報紙62号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市南区上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ ホンマ電機 検索
発行責任者 本間俊三

再生可能エネルギーの買取り制度

余剰電力買取りと、全量買取り制度の比較

太陽光発電システムを自宅に設置した人は、発電した電気を電力会社に売ってお金をもらうことができます。現在（2011年6月現在）では、**「余剰電力の買取制度」**が有効で、太陽光発電した電気から、自分の家で使った電気を引き算し、余った電気があればこれを売電できます。今後採用される方式として、**「全量買取制」**があります。

全量買取制は、家での消費電力とは無関係に、太陽光発電した全ての電力を売電できるという方式です。売電単価にもよりますが、太陽光発電した全ての電気を売電できることから、全量買取制度のほうが設置者のメリットが大きく、余剰買取よりも普及が進みやすいとみられています。その一方で、「この制度では、自宅での消費電力とは無関係に売電できてしまうので、省エネ・節電意識が高まらない」という反対意見もあります。

この制度移行が太陽光発電ユーザーにとってどんな意味を持つか、左記の図で説明しましょう。

■二つの制度の違い

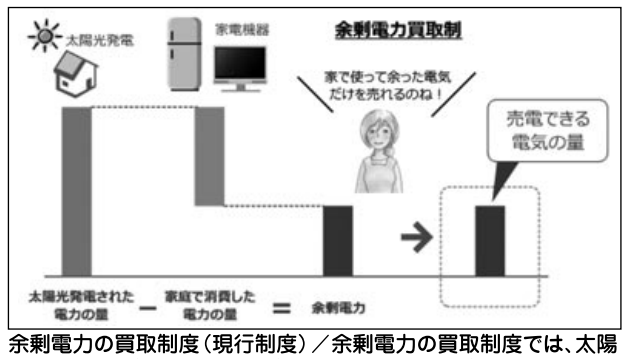
余剰電力の買取制度　太陽光発電した電気から、自分の家で使った電気を引き算して、余り（余剰電力）が出たときに売電できます。家で使う電気を節約すれば、支払う電気代が少なくなり、さらに余剰電力を多く出して沢山売電でき、二重に利いてきます。このため、ユーザーの節電努力を促しやすい制度だといえます。

全量買取制度　余剰電力とは無関係に、太陽光発電した全ての電気を売電できます。

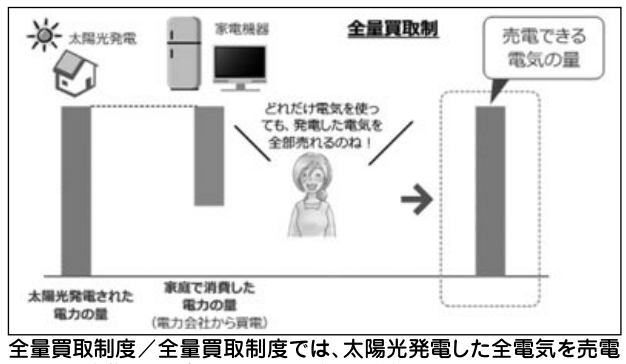
このとき、家で消費した電力分については、通常どおり電力会社から必要な電気を買います（買電します）。たとえ太陽光発電した電気より多くの電気を消費したとしても、太陽光発電した全部の電気を売電することができます。

全量買取制度では、「余剰電力」という考え方自体がなくなるわけです。買電した電気料金は通常どおりに支払うので、光熱費を節約したければ、節電した分だけ利いてくるだけです。

突き詰めれば、全量買い取りの考えでは自宅の屋根に付けたパネルは電気を売るためとなり、余剰電力買い取りで培われる節電意識が希薄になる恐れがあります。**全量買取制度**の普及がすすめば、コスト高の太陽光発電比率が増え、電気料金のコストに反映され、値上げの可能性が早まると考えられます。



余剰電力の買取制度（現行制度）／余剰電力の買取制度では、太陽光発電した電気から使った電気を引いて、残った電気を売電する。



全量買取制度／全量買取制度では、太陽光発電した全電気を売電できる。消費した電気（買電）は、料金を支払う。

住宅・酪農農家・医療機関　電力不足に自衛策

BUSINESS フィールド

各地の原子力発電所が東日本大地震を契機に運転停止や再稼働できなくなったことにより、関東・東北地方では大幅な電力不足が生じました。供給体制の間に合わなかった期間は、大規模停電を回避するため、計画停電が実施されたことは記憶に新しい。

この深刻な電力不足に自衛策を検討する企業や住宅からの相談が急増。特に医療機関からが多く、次いで製造業での大容量可搬型発電機設置の相談でした。しかしこの時期既に、可搬型発電機は被災地に運ばれ関東地区には殆ど無くなっていました。その状況下で、自衛策としての自家発電装置を設置した事例を紹介します。

いずれも相談段階から据え付け工事まで弊社が実施したものです。

(1)住宅に小型発電機

発電機容量は6KVAあり、必要な照明と調理機器を含む電気機器は賄える容量。

(2)酪農農家に中型発電機

容量50KVA・三相200v電源と単相100v両方とれることから、畜舎の換気・送風で乳牛を守り、搾乳した牛乳の冷蔵電源が供給可能。また、自宅の照明と一部のエアコンの稼働が可能です。

(3)医療機関に大型発電機

目下工事中ですが、容量三相200v・450KVA。ジーゼルエンジン発電機。用途は災害時の防災機器と、停電時の医療機器への電源供給にあります。

酪農農家の中型発電機

牛舎内

医療機関に大型発電機

新入社員紹介

濱野　伊知郎（44歳）
入社 平成23年3月28日
第1種電気工事士
第2種電気工事施工管理士

山中　貴幸（33歳）
入社 平成23年3月11日
第2種電気工事士
給排水工事主任技術士

ホンマぷらざ

⑱ 近況報告

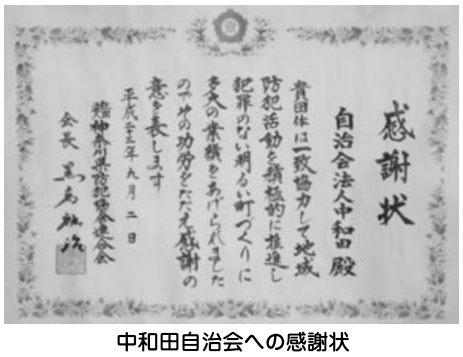
このイメージマークはサービスマークとして登録されております。

JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会と中和田自治会に会長表彰

「第42回地域安全県民のつどい」が、さる9月2日神奈川県立音楽堂で開催され、地域での犯罪や事故等の未然防止活動に活躍している自治会や団体の代表者たちが約1100人集いました。

ここで、本間俊三が代表を務める**「JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会」**が、**違法風俗街の環境浄化活動**を認められ、黒岩祐治㈳県防犯協会連合会長と、久我英一県警察本部長より、感謝状を贈られました。また、本間俊三会長の自治会法人・中和田自治会も同連合会長より表彰されました。**防犯啓発・交通事故防止の青パト運行の活動**を称えたものです。

同調整会への感謝状を代表して手にする



感謝状

自治会法人中和田 殿

貴団体は一致協力して地域防犯活動を積極的に推進し犯罪のない明るい町づくりに多大の業績をあげられたのその功労をたたえ感謝の意を表します

平成23年9月2日

神奈川県防犯協会連合会
会長 黒岩祐治

中和田自治会への感謝状

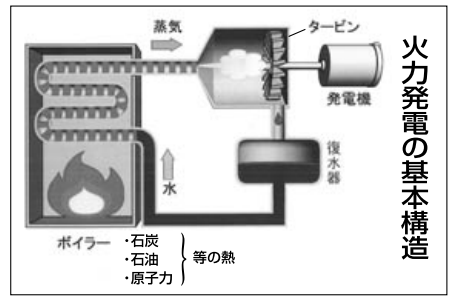
ホンマ電機とエネルギー

弊社は電気工事業を標榜していますが、設立以来のコンセプトは、受電した電気のエネルギーを安全確実に消費する機器へ送る業務、さらにそのエネルギーを活用する機器を扱う事業としています。そのため電気エネルギーの特性をよく理解する必要がありました。弊社が蓄積した知識や体験をお取引先様にお役に立てて頂くことは大きな喜びです。

弊社が取り扱う電気エネルギーを紹介します

電気エネルギーを電気の形で使うのは殆どありません。基本的に電気とはエネルギーの形であって活用するときだけ、動力・熱・光・信号などに形を変えます。

例えばモーターを使う機器は動力の活用であり、エアコンはモーターからさらに熱に変えます。電灯は様々な原理で光に変えるという風に。



火力発電の基本構造

それでは電気エネルギーの前は何かと言うと殆どは熱であり、その熱の元は原油や天然ガスまたは原子力です。熱で蒸気を発生させタービンを回す原理はどれも同じです。多くの人は原発が原子力で直接発電していると思っているようですが、広い意味では火力発電の仕組みと同じであり、タービンを介しています。

そして、最近注目されてきたのが**再生可能エネルギー**であり、これらは熱（蒸気）とタービンを必要としないところに特徴があります。規模は小さく、その比較を食糧生産に例えれば、大農場と家庭菜園ほどの差があります。

発電方法は何であっても電気はエネルギーの形態であることから、その特性に違いは無く区別することは出来ません。電気の質は電圧が一定で周波数が変動せず、そして停電しないことが求められます。**『受電した電気エネルギーを安全確実に良質の状態で機器に送り活用するお手伝い』**とする弊社の事業コンセプトは、今後も変えるつもりはありません。

原発論議を斜めから見る

3月11日の福島第一原発放射能漏れ事故以来、原発や放射能に関して様々な議論が展開されていますが、評論家やマスコミ報道・市民の声など、殆どが否定的です。それらに直接反応するのではなく一歩引いて、それらの議論を斜めより眺めた別の面からの考察を述べてみます。10年後の世論や議論はどうなっているでしょうか。現在のものと比較するのも興味があります。

放射能に関する所見の違い

私は専門家ではないので意見は控えますが、研究者や専門家であれば、一般的に科学的所見に関して大差ないようですが、こと原子力に関しては大きく異なります。特に我々が知りたいのは人体や健康への影響です。学者により表現が異なり、どれを信用すればよいのか、判断に苦しみます。明確なデータが無いからなのか、あっても表現するとき何らかの意図を込めるからなのでしょうか。（人類が放射線を発見してからわずか100年）

放射能と生物の付き合い

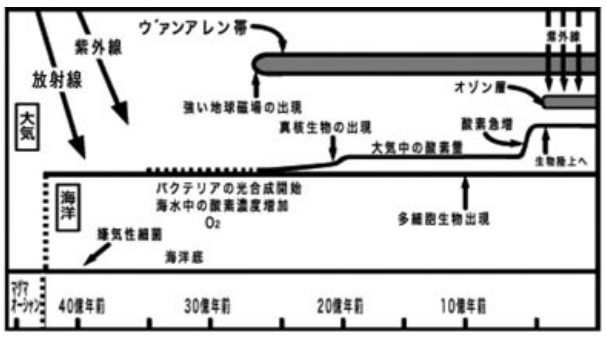
地球が誕生した頃は放射能で地球は覆われていたといいます。そうした中で生命は誕生し、放射能の充満した中で進化してきた経緯があるそうです。今生き残っている生物は、少なからず放射能に耐え対応する能力をDNAとして残しているという見方があります。また、生物の進化には放射能が深く関わったといわれます。今でも微量放射能は、温泉地や湯治場などで健康増進に生かされているようですから、もう少し大らかでいいのではないでしょうか。（生物が陸に上がり放射能と付き合って数億年　下図参照）

過剰反応では済まされない

原発（放射能）に関して過敏になり過ぎていないでしょうか。過剰な反応が逆に、放射能被爆による実被害以上に社会を混乱させ不幸にしているのではという意見があります。実質的被害でいえば、車が発明され路上を走るようになり、どれほどの人間が事故で亡くなったか。飛行機も然り、病気を治す薬にも副作用のリスクがあります。原発についても車や飛行機・薬など他の文明の利器のようにリスクを受け入れて、可能性にかけることは出来ないかという意見です。原子力だけが特別なのでしょうか。（進歩はリスクや壁との戦い）

安全・安心の根拠に無くならない不安

私が住む地区の東側には境川という2級河川が流れていて昔はよく氾濫したと古老が話します。今は蛇行が直線に、土手も堅固に改修され安全になったと市はいいますが、付近の人達には未だ不安が残ります。市は最大時間雨量を想定して土手の高さを計算、更に安全率を見込み、ここまでは安全といいますが、安全の根拠は科学的数字のみです。しかし安心するには、更に説明する者の信頼性も要求されますが、それで不安が解消されるわけではありません。（さらに不安を取り去るには神の力が必要です）



生命の誕生と放射線（「生命と地球の歴史」より）

● 企業ルポ　● お客様紹介 ㊶

「顔のみえる管理」® を目指して

株式会社ウイッツコミュニティ

本店 〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原4-7-10 エス・プラザビル1F

代表取締役
柴田　正隆氏

本　店 tel.042-758-9123 fax.042-758-8123
東京支店 tel.03-5368-1211
横浜支店 tel.045-825-4161

本店の正面入り口を中心とした全体像

ビル一階が本店

◆本店入り口

株式会社ウイッツコミュニティ
- **・設　立**　平成3年2月28日
- **・資本金**　5,000万円
- **・代表取締役**　柴田正隆氏
- **・事業所数**　3ヵ所
- **・事業内容**　マンション総合管理業

相模原市淵野辺の自宅に事務所を設置し清掃業者として起業、平成3年、（有）未来トータルサービスを設立した同社は、幾つかの社名変更を経て**「株式会社ウイッツ コミュニティ」**として平成22年、創業20周年を盛大に祝いました。

マンション管理、ビル建物総合管理、リニューアル工事を業務の柱に、社員一丸となってのチャレンジ精神が破竹の勢いとなって今日の実績を築いたといえましょう。

一清掃業者として起業したから見えた旧態のマンション・ビル管理業務に対し、主として個人に即対応できる**地域に密着したサービス形態**を導入。技術スタッフや有資格社員を揃え、徹底した知識の集積によるマンション・ビルの定期的な体調管理**「町医者」**を目指し、事業を伸展させてきました。

同社が創業時に抱いた都会の中心でのマンションやビル管理・メンテナンスが実業として成立するかとの疑問は、社員たちの懸命な業務努力により**「町のお医者さん」「顔の見える管理**（商標登録）**」**として同社の標榜するの二つのキーワードとなり、その根底に流れているのが、「実業の精神」です。この同社独自の企業理念**「実業の精神」**は、徹底した自社責任施工体制が築いたもので、その結果スピーディーな施工、円滑な管理を可能としました。管理を支えるグループ会社は（株）東京ランドスケープ研究所、（株）APO-COMI、（株）清王サービス、（株）DEX、ライフビズ（有）等です。

同社のマンション管理棟数は260棟6,500世帯と県内に本店を置く管理会社としてNO.1、指定管理者認定を受けた市内でも100棟を突破、NO.1の管理実績です。その実現への体制には、「如何に細かく共有部と個人のお客様にも対応し、信頼と信用を築けるか」と、巡回管理車やバイクによるパトロール、土日サービス、月1回の管理組合理事長訪問、夜回り君の訪問など**「顔の見える管理」**の実践がありました。

政令市相模原の発展と共に同社の展開は今や衆目を集めています。ホンマ電機は同社のマンション、ビル管理やメンテナンスの電気関係を担っています。

防災への備え

マンションでの室内での防災への備えの留意ポイントです。
他にもあるかと思いますが、常日頃からの意識が大切です。
今一度確認してみてください。

① 避難経路（バルコニー等）に物が置いてない
② 消火器の使い方を知っている
③ 家族と連絡をとる方法、落ち合う場所を決めている
④ 防災訓練に参加している
⑤ 非常時に備えて防災グッズを用意してある
⑥ 災害用伝言ダイヤルの使い方を知っている